

おやま 市議会だより



第301号

●主な内容

令和元年度小山市一般会計歳入歳出決算を認定 令和2年度一般会計補正予算を可決

議案とその内容……………②	委員会報告……………④～⑦
陳情……………②～③	市政一般質問……………⑦～⑩
審議結果……………③	議会日誌等……………⑩
議員提出議案……………③～④	次回定例会の予定……………⑩

令和3年2月1日号



冬の星空～琵琶塚古墳～（撮影：Photo Art きらら 持田 慎一 氏）

 **小山市議会**

編集 議会広報委員会

12月

定例会のあらまし

令和2年11月30日～12月23日

令和2年第5回（12月）定例会は、11月30日～12月23日まで24日間の会期で開かれました。本定例会では、令和2年度一般会計補正予算案をはじめ、各会計の補正予算案および条例の制定・一部改正案などについて審議しました。11月30日、9月定例会で継続審査となっていた令和元年度一般会計歳入歳出決算を認定し、その後、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案23件、報告2件が上程され、提案理由の説明を受けた後、条例の一部改正案1件を即決しました。

12月2日～4日は、3会派および12人の議員が市政に対して一般質問を行いました。4日は、上程議案に対する質疑の後、議案および陳情の各委員会への付託を行いました。これを受けて、12月9日～11日および14日～15日に各委員会が開かれ、審査を行いました。12月23日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案22件を可決、陳情については1件を不採択、1件を継続審査としました。さらに市長提出議案1件および議員提出議案1件が上程され、これらも可決し、定例会を閉会しました。

陳情

12月定例会では、新たに受理した陳情2件を審査した結果、1件を継続審査、1件を不採択と決しました。（審査の経過については「委員会審査から」をご覧ください）

新たに受理したもの

陳情2件

●国に対して「妊産婦医療費助成制度」を創設するよう意見書提出を求める陳情書

〔提出者〕 栃木県社会保障推進協議会

会長 大根田 紳

〔趣旨〕 2018年12月に公布された成育基本法の基本理念を実現するため、疾患や受診科目による制限のない妊産婦医療費助成制度が国の制度として早期に実現されるよう、意見書の提出を求めるもの。

▽審議結果 継続審査

●陳情書（日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書）

〔提出者〕

ヒバクシャ国際署名推進委員会 若林 敏雄

〔趣旨〕 2017年7月に国連が採択した核兵器禁止条約

主な議案

12月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆令和2年度小山市一般会計補正予算（第4号）―歳入歳出それぞれ9億9556万円の増額補正。財政調整基金積立金、小山評定ふるさと応援事業費、小山評定ふるさと応援基金積立金、ひとり親家庭自立支援事業費、認定こども園等施設型給付事業費、障がい児通所支援費、生活保護費、転入勤労者等住宅取得支援事業費など。補正後の予算総額は、881億3716万2千円。

◆令和2年度小山市一般会計補正予算（第5号）―歳入歳出それぞれ9263万3千円の増額補正。ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費、雇用調整助成金利用促進補助事業費、住宅確保給付金給付事業費、高齢者施設新規入所者PCR検査費用補助事業費など。補正後の予算総額は、882億2979万5千円。

◆小山市渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の設置及び管理に関する条例の制定について―渡良瀬遊水地周辺の活性化を図る拠点として整備した小山市渡良瀬遊水地コウノトリ交



小山市渡良瀬遊水地コウノトリ交流館

流館の設置および管理に関する必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。



建設中の小山市立体育館

施設名称…小山市立体育館
指定管理者となる団体…思川PFIパートナーズ株式会社
指定の期間…令和3年7月1日から令和19年3月31日

◆指定管理者の指定について

（小山市立体育館）―地方自治法第244条の2第6項の規定により提案するもの。

令和2年第5回定例会（12月）審議結果

議決結果

Table with columns: 議案番号, 議案名, 議決結果. Includes sections for 決算, 予算, 条例, 議案, 議員提出議案, and 陳情.

賛否一覧表（起立採決）

Table with columns: 議決結果, 賛成・採択, 反対・不採択, and 26 member names (e.g., 石島 政己, 塚原 俊夫).

※ ○=賛成、採択 ×=反対、不採択 欠=欠席
※ 議長（福田 洋一）は採決に加わりません。

議員提出議案

定例会最終日、岡田裕議員ほか4名から「防災・減災、国土強靱化対策の推進を求める意見書案」が提出され、審議の結果、原案通り可決し、内閣総理大臣ほか関係大臣等に送付しました。

◆防災・減災、国土強靱化対策の推進を求める意見書―数十年、百年に一度と言われる大規模災害が今や毎年のように発生し、本市においても度重なる災害により、貴重な財産が失われ、未だ復旧・復興の途上にある。こうした中、国が「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を掲げ、国・地方が一体となつ

て短期・集中的に取り組みを進めているところであるが、今後も強力かつ継続的・計画的に進めていく必要がある。ついでには、国において、「防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進」のため、「防災・減災、

国土強靱化のための3カ年緊急対策」に引き続き、中長期かつ明確な見通しのもと5カ年間の計画を策定し、必要な予算を安定的に別枠で確保すること等を強く要望する。

委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会
で慎重な審査を経ていきます。12月定例会の委員会審査の中
から、主な質疑を紹介します。

決算審査



2万4千円（前年度比1・1%増）で執行率87・0%となりました。

▼令和元年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定について
議案は、9月議会に提出され、委員会において決算の全体概要、執行状況および主な事業の概要等について説明を受けた後、閉会中の継続審査となっていました。決算審査特別委員会は10月15日、16日に開催し、慎重に審査を行い、原案の認定を可と決しました。

予算現額680億6056万3000円のうち57億1942万1千円を次年度に繰り越し、決算額は歳入が605億5999万1千円（前年度比0・8%増）で収入率89・0%、歳出が591億816

委員会では、事業に関する実績およびその評価結果、進捗状況などについての質疑・意見・要望等が委員から出されました。

以下、主な質疑を紹介し

問 放置自転車の現状と対策

答 放置自転車の台数は、平成30年度は539台、令和元年度は427台でした。年々減少していますが、小山駅および思川駅周辺に多く見られます。小山市では、放置自転車の指導整理業務をシルバークリスタルセンターへ委託しており、令和元年度においては、小山

駅周辺は平日1日2時間、思川駅周辺は1日1時間の指導や警告書の貼り付け等を行いました。

問 移住定住促進事業の新幹線通勤定期購入補助金の事業実績は。

答 令和元年度の補助件数は56件で、前年度より24件増加しました。増加要因としては、令和元年度から制度を拡大し、大宮駅への通勤および東海道新幹線を利用した通勤も対象としたこと、また、平成29年の制度開始以来のPR活動により、広く周知されたためと

考えています。

問 小山市消防本部管内でのドクターカーおよびドクターヘリの出場件数は。

答 ドクターカーとドクターヘリは平成22年から運用が開始されており、ドクターカーについては例年50〜60件の出場を要請しています。ドクターヘリについては、これまでに45件の出場を要請しています。

問 教職員の働き方改革支援事業の内容は。

答 本事業は、教員の資料作成等の事務負担を軽減するための学校支援員と、教員に代わって部活動の技術指導を行

総務



▼小山市手数料条例の一部改正について

問 手数料条例の改正のあらまし、および手数料の増減は。

答 条例改正により、固定資産税の評価証明手数料が変更となります。現在、証明1件を200円とし、建物1棟、または土地1筆が増えることに30円を加算した金額が手数料となっていますが、改正後は証明書1枚につき200円の手数料となります。

▼小山市職員の旅費に関する条例等の一部改正について

問 普通旅費の種類について

答 現行の旅費に、旅行雑費を日当に改正する理由は、

国家公務員の旅費では日当として扱っています。また、国においては、国外への旅行に支給するものが旅行雑費として扱われており、国の旅費法に合わせるため改正します。

▼陳情書（日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書）

意見 日本政府が核兵器廃絶の先頭に立つことは当然であるが、核兵器禁止条約に調印しないのは国益や安全保障を考えた上での判断によるもの

と思う。同条約に調印して

いない核保有国に対し一緒に条約調印を求めていくことが日本の役割と思われる。そのため、同条約にすぐに調印、批准することは良くないと思われるため、不採択としたい。

旅行雑費を日当に改正する理由は、
答 現行の旅費に、旅行雑費を日当に改正する理由は、
国家公務員の旅費では日当として扱っています。また、国においては、国外への旅行に支給するものが旅行雑費として扱われており、国の旅費法に合わせるため改正します。



の役割であり、批准することだけが目的とはならないと思うため、不採択としたい。

▼令和2年度小山市介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 介護保険システム改修の内容は。

答 今回の改修は、令和3年4月に予定されている法改正に伴うもので、介護報酬の改定や介護認定の有効期間の延長等によりシステム改修を行う必要が生じたものです。

▼小山市子ども甲状腺検査基金条例の廃止について

問 基金廃止後に創設される相談窓口の業務内容は。

答 甲状腺の健康被害に関して不安を持つ方々に対し、令和3年4月1日から小山市子ども甲状腺健康相談事業を創設する予定です。この事業は、健康増進課を相談窓口とし、電話や窓口で聞き取った症状等をもとに連絡票を作成し、相談者がこの連絡票を委託医療機関へ持参することで、無料相談を受けられる体制を構築するものです。

▼指定管理者の指定について(小山市学童保育館)

問 施設ごとに指定管理料に差があるが、積算根拠は。

答 指定管理料は、国の補助基準額を参考に、利用する児童数による基準額、土曜日の開所日数による加算、障がい児受け入れによる加算、有資格者の人数による加算等を基に積算しています。施設ごとの指定管理料の差異については、障がい児受け入れによる加算に係る部分が大きく、障がい児1人の受け入れで126万円の加算、3人以上の受け入れで更に126万円の加算となります。

▼指定管理者の指定について(小山市ふれあい健康センター)

問 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、ふれあい健康センターの対応状況は。

答 ふれあい健康センターは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年3月2日から全館休業しました。その後9月8日から入浴を試行的に再開し、10月1日からは大広間での食事の提供を中止した上で、カラオケを行わない入浴のみの営業を再開しました。また、施設の利用は予約制とし、営業時間も10時から

17時の短縮営業を行っています。

問 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う営業自粛を受けて、指定管理者に支払う指定管理料はどうなるのか。

答 市が支払う指定管理料は協定に基づくもので変更する予定はありませんが、市からの要請による営業自粛により減収となった指定管理者については、補償する方向で考えています。なお、休業に伴う収入減と休業により減額となった管理費の支出減を比較した場合、今後対応を協議することも検討したいと考えています。



小山市ふれあい健康センター

民生(陳情)

▼国に対して「妊産婦医療費助成制度」を創設するよう意見書提出を求める陳情書
意見 妊産婦医療費助成は現

在、各都道府県・市町村で行っているため、地域によって助成の適用範囲が異なっており、これを統一するには相当の課題が出てくると思われる。令和元年、成育基本法が施行されたが、同法に基づき都道府県や市町村がどのような取り組みを行っているのか、より詳しく調査する必要があるため、継続審査としたい。

意見 妊産婦に対する医療費助成制度については、本来、国が運用すべきものと考えており、その点において陳情の内容は十分理解できるが、成育基本法の趣旨や国・自治体との関係についてさらに研究したいため、継続審査としたい。

教育経済



委員会開催に先立ち、建設中の小山市立体育館の現地調査を行いました。



現地調査の様子(小山市立体育館)

▼小山市渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の設置及び管理に関する条例の制定について

問 交流館の閉館時間が午後5時であるのに対し、展示スペースの貸出時間が午後4時までとなっている理由は。

答 10月以降の日没が早い時期は、冬時間として閉館時間を午後4時とする予定であり、貸出時間もそれに合わせたためです。

▼小山市立体育館の設置及び管理に関する条例の制定について

問 使用料が割安となる「高校生以下の者」について、小山市に在住もしくは通学していること、または栃木市、野木町、古河市、板倉町および加須市のいずれかに在住していることが要件となっているが、小山地区定住自立圏内にある下野市や結城市が入っていない理由は。

答 この割引は、「公の施設の相互利用に関する協定」を締結した「関東どまんなかサミット」の構成市町の高校生以下の者について適用するもので、小山地区定住自立圏内では、こうした協定が締結されていないため下野市・結城市は、適用外となるものです。

▼指定管理者の指定について
(道の駅思川)

問 道の駅思川における、新型コロナウイルス対策および売り上げの状況は。

答 コロナ禍における三密対策については他の大規模店舗と同様に対応しており、特に問題は発生していない旨、管理者より定期的に報告を受けています。また売り上げについては、全体として減少していますが、農産物の直売には大きな影響はありません。



道の駅思川

▼指定管理者の指定について
(小山市立体育館)

問 小山市立体育館整備および運営事業が小山市で初のPFI方式導入事業となるが、市の大型事業における今後のPFI方式の活用方針は。

答 全ての事業をPFI方式で行うのではなく、導入効果をよく検証し、整備手法の選択肢の一つとして検討してい

く考えです。

▼指定管理者の指定期間の変更について(小山市勤労青少年ホームおよび小山勤労者体育センター)

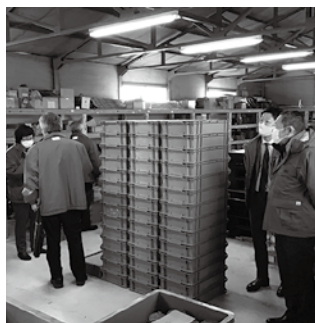
問 指定管理者選定委員会のメンバー構成について、行政側の委員の割合が高く、利用者の意向を反映しにくいと思うが、市の考えは。

答 来年度以降、市職員の割合を減らす方向で選定委員会のメンバー構成について検討していきます。また、利用者の意向を反映するための取り組みとして、現在、利用者アンケートを行っています。その他の取り組みについても検討していきます。

建設水道



委員会開催に先立ち、小山市水道庁舎敷地内の資材倉庫および車庫の現地調査を行いました。



現地調査の様子(水道庁舎倉庫)

▼令和2年度小山市水道事業会計補正予算(第1号)

問 水道庁舎売却の方針を見直した経緯は。

答 売却収入と倉庫の建設費用等の支出を比較した結果、実質収支がマイナスになると、また水道庁舎については耐用年数が長期間残っていること、さらに売却した場合、会計処理上で5億円以上の特別損失となること等の問題点が明らかになりました。そのため当面売却は見送り、現在の資材倉庫・車庫も継続して使用することとしました。

問 水道庁舎に入居している部署は新庁舎に移転するのか。

答 新庁舎建設については分散している市役所施設の集約という目的もあるため、現在水道庁舎に入居している部署はすべて新庁舎に移転予定です。

▼市道路線の認定について

問 市道認定の内容は。

答 市道8113号線以下22路線については、開発行為による整備後、市に帰属された道路を市道として認定するものです。また市道4729号以下6路線については、市が道路改良整備をした路線を市道に認定するものです。

予算審査



▼令和2年度小山市一般会計補正予算(第4号)

問 (仮称)文化の森整備事業用地について調整池を整備する計画は。

答 調整池にするという計画もありましたが、ポンプ設置による排水対策に変更したため、現時点では調整池の整備は想定していません。

問 小山市ふれあい健康センターの近年の利用人数および利用料金は。

答 利用人数については、現在、新型コロナウイルス感染症の影響で減少しています。通常は年間約6万人程度の利用があります。利用料金については、60歳以上の方が100円、一般の方が300円、小中学生が100円、乳幼児が無料となっています。

問 小山市ふれあい健康センターについては、利用者からの利用料収入に比べ行政側の費用負担がかなり大きいと思われるが、行政サービスのコストに関する市の考えは。

答 財政再建を図るうえでは、本来行政でやるべきことを優先して事業を見直していくこ

とが必要になってきます。このことから、事業については再検討する段階にきているのではないかと思います。

問 新庁舎移転に伴う不要備品什器処分業務委託の内容は。

答 現在、備品および什器については、新庁舎で使用するものと使用しないものとに分けるための調査を実施しています。そのうち新庁舎で使用しないものについては、出張所等の出先機関や自治会への譲渡、市民向けの販売、有価物としての鉄くず等の売却等を検討しています。当事業については、有価物に係る収集運搬費用や、やむを得ず廃棄せざるをえないものを処分するための費用として計上したものです。

問 小山評定ふるさと応援寄付金の実績は。

答 令和元年度は2億4330万9千円、令和2年度は11月末現在で約2億2600万円の寄附をいただいております。現時点で令和元年1年間分に近い実績となっています。

問 ひとり親家庭自立支援事業費について、事業内容および実績は。

答 当事業は、ひとり親家庭の経済的自立に向けた就業支



援として看護師や保育士等、就職に有利となる資格の取得支援を行うもので、令和元年度は14人の方に職業訓練給付金を支給しました。現在は18人の方に支給しており、支給人数の増加に伴う増額分を今回の補正予算に計上しました。なお、令和元年度の受給者14名のうち1名が就学期間終了後、正看護師の資格を取得して就職しました。

市政を問う

12月定例会市政一般質問

会派代表質問

(発言会派順に掲載、○印は会派代表質問を行った議員)

市政会

○渡辺 一男 安藤 良子
 大出 ハマ 植村 一
 小林 英恵 橋本 守行
 嶋田 積男 細野 大樹

質問項目 ①令和3年度予算編成方針②産業観光行政③地域包括ケアシステムの進捗④第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」

問 令和3年度小山市予算編成の基本方針は。

市長 令和3年度は非常に厳しい財政運営が迫られると見込まれますが、市民サービスの水準を維持し、新しい市政運営の基本方針である「速やかな財政再建」「市民が求める政策の実現」「田園環境都市小山のまちづくり」「徹底した市民との対話と連携」の実現を念頭に、新たにSDGs(持続可能な開発目標)、

市民派21

山野井 孝○石島 政己
 塚原 俊夫 青木美智子

質問項目 ①2021年度予算編成方針②組織機構見直しと定員管理③市道19号線拡幅整備の進捗④小中学校におけるスポーツの位置づけ

問 浅野市長の一番の公約である財政の健全化に向けて、これまでの歳出構造を根本的に見直す必要があると思うが、市長 全ての事業をゼロベースで見直し、事業の意義や効果等を改めて精査するとともに、投資的経費については今後の需要と投資効果等を十分に検証し、維持管理に係る経費も考慮した上で、中長期的な視点で事業の優先順位を決定するなど、歳入に見合った歳出構造へと転換していく必要があると考えます。また、事業の選択と集中を徹底し、既存事業の再構築を図るなど、限られた財源を有効に活用していきたいと考えています。

問 民間委託の推進により保育士や現業職、学芸員といった専門職の職員が不足している。計画的な採用を求めている。総務部長 保育士の採用については、小山市保育所整備計

画に基づく民営化の状況を踏まえ、保育の質と入所率の向上を図るため、適正な人員を精査し継続的に採用していきます。現業職の採用については、業務の性質上、民間委託を含めた行財政の効率化と業務の継続性を考慮し、適宜判断していきます。学芸員の採用では、専門分野のバランスや後継者の育成、地域や学校教育との連携等を考慮しながら、適宜判断していきます。

おやま創生会

○荻部 勉 森田 晃吉
 土方 美代

質問項目 ①令和3年度予算方針②勤労青少年ホーム③小中学校の施設管理

問 予算編成方針の中で、すべての事業について例外を設けずゼロベースで見直すとしているが、見直しは。

市長 令和3年度の当初予算規模は、大幅な税収の落ち込みや新庁舎竣工に伴う市債発行額の減少等を考慮し、約620億円の歳入を見込む一方、各所属からの予算要求額の合計は約660億円と大きな乖離が生じており、歳入に見合った予算編成とするため、類似事業の廃止、縮小などを

徹底するとともに、中長期的な視点での費用対効果の検証、事業の選択と集中を推進するなど、一層の歳出圧縮を図っていきます。

問 勤労青少年ホームおよび勤労者体育センターについて、現状と今後の活用予定は。

産業観光部長 令和元年度における勤労青少年ホームの利用者数は、延べ3万2780名で、そのうち40歳以上の勤労青少年として登録されない利用者数は1万8816名と、全体の57%を占めています。また、勤労者体育センター利用者数は2万213名で、両施設の合計では5万2993名の利用者数となっています。今後は、令和4年度に小山市勤労者福祉会館を小山市勤労青少年ホームに移転集約し、勤労者のための複合施設（仮称）小山市勤労者総合福祉センターとしての利用を計画しています。



手前：勤労青少年ホーム、奥：勤労者体育センター

個人質問

（発言順に掲載）

青木美智子

議員

質問項目 ①介護保険法施行規則一部改正②（仮称）城山公園フラワーパーク整備事業（祇園城本丸、二の丸）を歴史・史跡公園として見直し

問 中世小山の歴史を伝え国の史跡指定である祇園城跡・城山公園整備事業の大量の樹木伐採計画の見直しと生息している生物調査をすべきでは。
市長 祇園城跡に位置する城山公園は、近年、施設の老朽化や桜の老木化が進んでおり、近隣住民からは倒木を心配する声が寄せられています。そのため、公園の再整備に向けて平成30年度に（仮称）城山公園フラワーパーク整備事業基本計画を策定し、令和元年度は公園南部の本丸・二の丸エリアの再整備基本設計を策定しました。令和2年度に予定している樹木の保全・健全化工事では、樹木医による樹木の健全度調査を行い、保全樹木を選定します。地元自治会からも早期整備を求める意見をいただいております。公園の安全で快適な利用や、史跡保護のためにも必要な事業である

るのでご理解をお願いします。
都市整備部長 城山公園の樹木については、思川河畔林の一部を形成し野鳥類等が生息していることから、平成30年度に専門家にヒアリング調査を実施しました。専門家からは「城山公園の緑と河畔林の連続性を守ることが重要」「鳥

はあまり暗い環境を好まない」ので樹木が生い茂っている必要はない」等のご意見をいただき、これを踏まえ、河畔林との連続性を守るため、史跡に支障のない健全な樹木は残すこととしています。また、新たな希少生物の生息情報があれば、詳細を確認した上で随時追加調査を実施します。

荒川美代子

議員

質問項目 ①新庁舎整備②保健福祉行政③イクボス充実度アンケート調査結果

問 新庁舎開庁時に市民の利便性を図るため「案内コンシェルジュ」を配置しては。
総務部長 現在、新庁舎の総合案内については、庁舎の総合管理事業者の選定を行っており、この中で案内業務を委託する予定です。なお、案内業務については、職員と区別するためユニホームを着用し

た案内員を配置できるように、事業者と協議していきます。移転・集約により来庁者増加が見込まれることから、これまで以上に親切丁寧な対応を行い、来庁者に満足いただけるよう案内業務に努めます。

篠崎 佳之

議員

質問項目 ①令和3年度予算編成方針②渡良瀬遊水地関連事業

問 渡良瀬遊水地の治水事業として、第2調節池の掘削状況は。
建設水道部長 渡良瀬遊水地第2調節池については、平成22年3月に国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所が策定した渡良瀬遊水地湿地保全再生基本計画に基づき、国が掘削を実施しています。第2調節池の掘削は平成22年度から実施しており、令和元年度末までに小山市、栃木市合わせて78・3ヘクタール、約100万立方メートルの掘削を実施しました。令和2年度は約3万3000立方メートルの掘削工事に着手しており、令和3年3月に完了予定です。小山市としては、安全安心な生活基盤を確保するため、また東京圏を洪水から守

るため、渡良瀬遊水地第2調節池の継続的な掘削が不可欠と考えており、今後も国に対し計画的な掘削の推進を要望してまいります。

大木 英憲

議員

質問項目 ①小山市の総合施策

問 小山市の総合施策を進める上で、最も重要な市長の柱となる施策について伺いたい。
市長 市が目指すべき方向性として「速やかな財政再建」「市民が求める政策の実現」「田園環境都市小山のまちづくり」「徹底した市民との対話と連携」を市政運営の基本方針として示しましたが、まずは「田園環境都市小山のまちづくり」を具体化していきたいと考えています。コンパクトシティという世界の動向に沿い、バランスのとれた小山市の都市環境と農村田園環境について、開発を進める地域と自然を残す地域に分けて将来に残していくことが、今後のまちづくりの基本だと考えています。



福田 幸平 議員

質問項目 ①教育行政②オーラルフレイル(歯や口の働き)の衰え③南摩ダム
問 コミュニティスクールがさらに推進する「地域学校協働本部」が必要だと考えるが、導入について考えは。

教育長 地域人材のネット

ワークである地域学校協働本部とコミュニティスクールを一体的に推進することで相乗効果を発揮し、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が一層進んでいくものと考えています。その考えに基づきコミュニティスクールとなっている学校では、学校や地域の実情に合わせて、地域学校協働本部に準ずる組織建てを行って活動しており、今後この体制を支える地域コーディネーター、活動に関わる地域住民、公民館職員、地域連携教員等を集めた研修会を開催し、人材や情報の活用方法等について協議し、情報の共有化と地域学校協働活動の継続的、安定的実施を目指していきます。

橋本 守行 議員

質問項目 ①高齢者福祉②かまどベンチとマンホールトイレの設置③野木幹線用水路を整備して遊歩道としての活用
④こどもの国整備事業の推進
問 認知症対策について、QRコードの活用を早期に実現できないか。

副市長 他市町の事例で、徘徊高齢者見守りシール交付事業があります。これは、認知症高齢者の衣服等にシールで付けたQRコードを読み取ることにより、あらかじめ登録された登録番号や委託業者のコールセンターの連絡先が表示されるもので、その後コールセンターに連絡することによってセンターから親族に連絡が入る仕組みとなっております。個人情報提示せずに本人の発見につながるものではないので、現行の事業との関係整理や予算の確保、市民への周知等の課題があることから、先進自治体を参考に早期導入に向けて検討したいと考えています。

佐藤 忠博 議員

質問項目 ①暮らしの安心を確保する居住支援②総務行政
問 コロナ禍で大変な思いをされている方々のために「重層的支援体制整備事業」に速やかに取り組むべきと思うが、市長 重層的支援体制整備事業について、小山市では相談支援や地域づくり支援に係る9事業のうち既に8事業について実施しています。今後は残りの事業である「地域における生活困窮者等のための共助の基盤づくり事業」の実施について検討していきます。

また、令和3年度からは、改正により新たに加わる、一体的な支援体制を構築するための3つの事業のうち、多機関連働事業について実施していきます。

土方 美代 議員

質問項目 ①事業の「選択と集中」「費用対効果」②小山市総合計画③福祉行政
問 全市民の理解が得られるような、公共施設の公正公平な受益者負担の考え方について伺う。

総合政策部長 公共施設の使用料については、小山市使用

料手数料等設定基準に基づき算出されており、市内の小山市使用料手数料等審査委員会において審議を行った後、議員や学識経験者で組織した小山市使用料手数料審議会に諮問し、審議会の審議を経て答申された使用料を条例に定め

ており、受益者負担の考え方に基づく設定方法となっております。一方、小山市使用料手数料等設定基準については、平成9年の施行後、平成19年以降見直しを行っていないので、利用する者と利用しない者の均衡、公費負担をどのようにするかなどの観点を見直しに向けて研究をしていきます。

平野 正敏 議員

質問項目 ①保健福祉行政②核兵器禁止条約
問 6カ所の高齢者サポートセンターのうち、1事業所が今年度で撤退することだが、次年度以降の対応は。

保健福祉部長 高齢者サポートセンターについては、市内の社会福祉法人や医療法人に業務を委託して運営しています。このたび1つの委託法人から令和3年度の契約を辞退

する申出がありました。そのため、高齢者サポートセンターの受託法人の公募選定を進めているところであり、10月15日から11月13日にかけて市のホームページで公募を行いました。今後、審査会を経て、令和3年1月には新規受託法人を決定する予定です。

質問項目 ①SDGsの価値観共有のための取り組み②不登校児童・生徒への支援③重度心身障がい者の医療費現物給付④災害廃棄物の迅速かつ適正な処理
問 不登校児童生徒の学習支援や相談支援にICT等も活用すべきと考えるが、市の考え、体制について伺う。

教育長 不登校児童生徒向けのICT等を活用した学習活動について、小山市では、校長が児童生徒の社会的自立を助けるために有効、適切であると判断した上で一定の要件を満たした場合には、指導要録上出席扱いする体制が既に整っています。また、ICT等を活用した学習について、市内小中義務教育学校の児童生徒は、オンラインドリル教材を用いた学習が実施可能と

※1 重層的支援体制

既存の相談支援等の取り組みを生かしつつ、地域住民の複雑化・多様化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制

なっています。なお、授業のオンライン配信について、先進事例を参考に小山市として実施のあり方や方向性を検討していきます。

細野 大樹 議員

質問項目 ①産業観光行政 ②教育行政 ③総合政策行政 問 新型コロナウイルス禍における観光誘致策として祇園城等の御城印を発行することについて、市の考えを伺う。

総合政策部長 御城印は近年城跡等の来場記念品として人気を集めており、全国で約400カ所の御城印が販売されています。小山市には、祇園城、鷺城、中久喜城の3城跡が残されており、その歴史的価値が高く評価され国史跡に指定されています。現在、これらの付加価値を高めることを目的として、この3城跡の御城印の作成に着手しており、御城印発行を通して観光誘客にもつなげられるよう、周知や販売方法等について関係機関と協議したいと考えています。



片山 照美 議員

質問項目 ①市職員活性化対策 ②令和2年度介護保険サービスガイド発行進捗状況 問 令和2年度介護保険サービスガイド発行の進捗状況は、

副市長 令和2年度介護保険サービスガイドについては、令和2年内の発行、配布に向け改訂作業を進めているところです。令和元年度版は介護保険サービスのみ記載でしたが、令和2年度版では生きがいづくり事業や高齢者住宅福祉サービス等も追加し、介護に関する各種事業やサービスの1冊にまとめた総合的なサービスガイドとして改訂します。

議会日誌

- 10月 15日 決算審査特別委員会 16日 決算審査特別委員会 30日 市執行部との定例懇談会/政務活動費検討専門部会 11月 4日 議会広報委員会/議員説明会/議会運営委員会/会派代表者会議

- 9日 議会運営委員会/議員定数等検討専門部会 24日 議会運営委員会/会派代表者会議 30日 議会広報委員会

12月

- 2日 会派代表者会議 4日 議会改革推進協議会 9日 民生常任委員会 10日 教育経済常任委員会 11日 建設水道常任委員会 14日 総務常任委員会 15日 予算審査常任委員会/公共施設等整備調査特別委員会/議員説明会/議会改革推進協議会 23日 議会運営委員会 12月 議会広報委員会/議会運営委員会

次回定例会の予定

Table with 2 columns: Date and Meeting Name. Includes dates from Feb 16 to Mar 16 and meeting types like 'General Question' and 'Committee'.

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、傍聴はご遠慮ください。本会議については、ケーブルテレビおよびインターネットでもご覧いただけます。

本会議はインターネットでご覧になれます。

市議会本会議のインターネット中継・録画配信をおこなっています。ぜひご活用ください。

(小山市議会ホームページからリンクしています。) http://www.oyama-city.stream.jfit.co.jp/



議場見学

- 10月 14日 小山第一小12名 11月 25日 若木小61名



今年の干支は丑です。丑の特徴は粘り強さと

誠実さだと言われています。昨年一年は、日本全体が新型コロナウイルスに立ち向かった年でした。しかしこの原稿を書いている現在、新型コロナウイルス禍に終息の見通しは立っていません。2021年も私達は丑のように粘り強く新型コロナウイルスと戦っていかねばならないでしょう。丑年とはまるでこのことを象徴しているように感じます。小山市でも新型コロナウイルス禍で仕事や学業に影響を受けている市民に対して様々な支援策を講じています。小山市議会も一丸となって粘り強く、そして誠実に新型コロナウイルス対策に取り組みで参りますので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。(細野)